

シラバス(介護職員初任者研修)

職務の理解

目的	○研修に先立ち、これからの介護が目指すべき、その人の生活を支える「在宅におけるケア」等の実践について具体的なイメージを持って実感できるようになる。 ○介護職がどのような環境で、どのような形で、どのような仕事を行うのか、具体的なイメージを持って以降の研修に実践的に取り組めるようになる。
指導の視点及び展開例	
●研修課程全体(130時間)の構成と各研修項目(10項目)相互の関連性の全体像をあらかじめイメージできるようにする。 ●学習内容を体系的に整理して知識を効率・効果的に学習できるような素地の形成を促す。 ●視聴覚教材を使用し、介護職が働く現場や仕事の内容を、できるかぎり具体的に理解させる。	
修了時の評価ポイント	
修了評価は無し	
内 容	
①多様なサービスの理解 ・介護保険サービス(居宅、施設) ・介護保険外サービス ②介護職の仕事内容や働く現場の理解 ・居宅、施設の多様な働く現場におけるそれぞれの仕事内容 ・居宅、施設の実際のサービス提供現場の具体的なイメージ(視聴覚教材の活用、現場職員の体験談、) ・ケアプランの位置付けに始まり、サービスの提供に至るまでの一連の業務の流れとチームアプローチ・多職種、介護保険外サービスを含めた地域の社会資源との連携	